

特定非営利活動法人 ピアソン会

第75号

2017. 7. 31

ピアソン便り

発行人：吉田 邦子（理事長） 編集人：伊藤 悟（理事）

ピアソン会事務局

（事務局長 伊藤 悟）

〒090-0036

北見市幸町7丁目4番28号

Tel: 0157-31-1215

ピアソン記念館内

AM.9:30 ~ PM.4:30

e-mail アドレス

pierson@yacht.ocn.ne.jp

第19回グリーンコンサート

3団体演奏後に、大雨警報・雷注意報発令で、残る2団体の演奏中止！

7月1日土曜日の午後1時より、第19回目のグリーンコンサートがピアソン記念館前庭にて開催されました。

開演に先立ち、ピアソン会吉田理事長より、ボランティアで参加された各出演団体への感謝の挨拶がありました。

プログラム1番の出演団体は、今回初めてグリーンコンサートに参加した「アイランド



【写真右】チームエンジェルによるパトントウワリングの演技。

バトンクラブ／チームエンジェル」のパトントウワリングの演技が披露されました。最初に、「チェリボム」の曲に合わせて

小学生低学年の演技、続いて「CIDER CIDER」の曲で小学生高学年の演技、3番目は「Good Time」の曲で中学生による技術難度の高い演技が披露されました。最後は、全員による「SING」のリズムに合わせての演技を披露し、聴衆の温かい拍手を受けていました。

プログラム2番の出演団体は市立北中学校吹奏楽部。総勢45名による演奏でした。演奏曲は、マーチ「春風の通り道」、「ひまわり」と続き、3曲目には、「変わらないもの」を、演奏と合唱で聞かせてくれました。吹奏楽員による合唱ですが、専門の合唱団と何ら遜色のない美しいハーミニーによる合唱でした。もともと聴いていたいたい思いに駆られました。

【写真左】夏の北見野外コンサート会場として定着したピアソン記念館で、グリーンコンサート出演最多（中央小と並び第3回目より出演）の北中学校による演奏風景。



合唱の後は、「ひまわりの約束」、「世界に一つだけの花」、ラストの曲は「SUN」でした。

北中学校の演奏は例年素晴らしいのは周知ですが、挨拶など礼儀の正しき、そして中学生らしい清々しき、それらも永年観客に支持されている要因のように思います。



写真/北中の演奏と観衆

プログラム3番の出演団体は、北中学校と並んで最多出演の市立中央小学校のブラスバンド部と、今年初めて合同参加する合唱部児童で合計45名でした。

最初の演奏は、ジブリ・メドレー「散歩・いつも何度でも・君を乗せて」、2曲目は中央小学校スクール



バンドと合唱のための「ARUKI☆DASOU」を合唱と演奏で披露してくれました。

最後の曲は、劇中歌「どこまでも」を合唱部の児童だけで歌ってくれました。初出演の合唱部へ、温かい拍手がおくられました。

プログラム4番目の準備にかかっている時、黒い雲が北見市内の空に流れ込んできて、雷が轟くようになってしまいました。大粒の雨もポトリポトリと落ちてきたので、次の演奏団体の北見工大&日本赤十字北海道看護大学吹奏楽部の代表、北見吹奏楽団の代表と

写真右上/中央小学校ブラスバンド部の演奏。
写真左上/中央小学校ブラスバンド部と合唱部。

写真右下/チームエンジェルの中学生による演技。高度なテクニックを披露してくれました。

写真左下/チームエンジェルの小学生による演技。

協議を（北見地方に大雨警報と雷注意報が発令されたことも考慮）し、以降のプログラムを中止することを決断いたしました。会場の聴衆の方々も状況を判断し理解していただきました。

このようなことで誠に残念でしたが、残りのプログラムを披露することはできませんでした。来年のグリーンコンサートで再会できるように各団体に呼びかけ、終演となりました。来年は、第20回のグリーンコンサートになります。



「ニュージールランドからの便り」第8回
顧問のハード氏、一年振りに来北！

ピアソン会顧問

グラハム・ハード氏

*2017.6.2

ピアソン会からのご招待ありがとうございます。再会が楽しみです。◆北見にはJRで6月5日(月曜日)の予定です。

*2017.6.6

ピアソン会の方々と6月12日(月曜日)の集まりを楽しんでいます。◆昨日午後、無事北見に着きました。旅行には素晴らしい日でした。

*2017.6.13

昨夜の楽しかった会食の時間をありがとうございました。わざわざ席を設けてピアソン会の方々が集まってください、美味しい食事とホテル黒部の居心地良さを嬉しく思



写真右/JR北見駅にて。向かって右からハード氏、吉田理事長、篠原さん。(ハード氏のカメラで撮影)

いました。◆北見での日々は瞬間に過ぎましたが、心満たされたことをいつまでも忘れないでしょう。

◆6月19日午後、たいせつ4号で北見駅を立ちます。◆ピアソン会の皆様に宜しくお伝えください。

*2017.6.30

北海道での時は飛び去り、明日ニュージールランドへ向かいます。

◆北見から札幌へ戻った後も良い時を過ごしました。特に、今週初めには守本先生はじめ大学の多くの方々との楽しい集いがありました。◆北見滞在中は、ESSメンバーやピアソン会の温かいおもてなしに与かりました。黒部の美味しい食事を味わいながら楽しい時を共に出来たのは素晴らしいことでした。これからもまた集まれる機会があるでしょう。

*2017.7.11

北見の暑さの中にもお元気です。◆ニュージールランドに予定通り無事戻りました。◆機内では隣席が韓国の学生で、彼はマッセイ大学(②)での英語の勉強に向かう旅でした。初めての海外旅行でもとても積極性があり、英語が達者で、関心はニュージールランドの国や習慣をより多く学ぶことでした。ここでの経験を楽しんでくれるといいのですが。(③)ハード氏はケンブリッジのコーパス。

クリステイ・カレッジ卒業後母国のマッセイ大学日本語講座で学びました。(訳者注) ◆寒くて湿度の高い天候が続いていましたが、今日は日が照っています。◆姉宅の昼食に姪と二人の子どもたち、そして私が合流しました。食後、シエークスピア公園にある滝の小径を散歩しました。地面はとても濡れていましたが、女兒達は新しい虹色のガムブーツを履いてご機嫌でした。ガムブーツというのは、日本語の「長靴」です。◆小羊たちを探しましたが、まだ生まれていないようですが間もなくでしょう。それがニュージールランドの春到来のサインなのです。◆今、窓越しにオコロマイ湾上の虹が見えています。最近多く見えます。◆庭の果樹からマンダリンオレンジを味わっています。◆北見の皆さんによりしくお伝えください。

◆ハード氏から、久々にピアソン記念館を訪れ心地よい時を過ごした、と聞きました。★12日、会食の日に事務局長伊藤理事が札幌での北海道遺産協議会総会出席が決まっていたので、事前のハード氏訪問は、新年度の活動など、多くの語り合いができました。

★会食はハード氏のお好きな和食『幕の内弁当』でのひと時。8名の会員が共にしましたが、記念の写真忘れまことに残念。駅頭での1枚が写っているといいのですが……。7・15 吉田

ピアソンハーブ部会研修ツアー

6月8日木曜日午前9時、市内の武田花光園(小泉地区)に集合。参加者は増井、小林、長南、河田、神田、道順の6名での研修で、武田花光園、石川果樹園、篠根果樹園、の見学研修が目的です。

武田花光園では各種の花の苗の説明を受けました。広い敷地に樹木の苗や野菜の苗を扱っています。

石川果樹園では、樹齢100年を超えた桐の木の実を観察し、7月頃から収穫直売するさくらんぼなどの樹木を見学しました。次に篠根果樹園です。ここは、秋にはりんごを収穫直売をする果樹園です。北見市内にもこのような果樹園があることを知ることができました。将来には、北見のフルーツロードとして観光スポットにもなるかもしれません。

写真左、武田花光園にて。



石川果樹園にて。



スナッフ写真⑬ 素敵な来館者たち!

7月20日木曜日、北見情報ビジネス専門学校生徒たちが、2班に分かれてホテル観光ビジネス学科の生徒の案内でピアソン記念館の見学に来ました。北見に住んでいても一度も訪問したことがないという生徒が多かったですが、案内の映像や説明を聞き、また自身たちの通う専門学



校の前身が、この記念館のすぐ道路向かいに建っていたことや、学校創設者故栗原太郎氏の夫人故栗原武子さん幼児期の写真がこの記念館に展示されていると聞き、興味津々の様子でした。第一班は、2階にあるピアソンさんの生まれ故郷の姉妹都市エリザベス市の資料や写真を見たり、ピアソン邸の設計者であるヴォーリズ記念室で資料を読んだり、また戦争中この建物が存続の危機にいたった時、この建物を守った唐笠学医師の記念室と、1時間以上の時間をかけて学んでいました。第二班の生徒たちは、ハツカ記念館の研修後、11時頃当館に到着。一通りの案内説明



を聞いた後、館内の各展示コーナーを熱心に見ていました。

この来館は、ホテル観光ビジネス学科の生徒が、『ふらつと北見』が街、感じよう！歩いて3時間の旅！』として企画し、他の学科で学ぶ生徒たちを案内するもの。自分たちが「観光」講義の中で、北見市がどのように発展してきたかを、残されている施設などを数ヶ月かけ調査・研究し、その結果をこの企画で体験してもらおうということでした。参加した他の学科の生徒たちも、仲間の案内役に満足そうに楽しんで見学していました。この年齢の時期、郷土の歴史を学ぶということはとても重要なことだと感じました。

編集後記

第19回グリーンコンサートは、出演予定団体の前半の演奏しか聴くことができず残念な結果に終わりましたが、来年の第20回に期待したいと思います。しかし、最近の天候には、「青空の北見」というイメージが薄れていく感がありますね。

顧問のハード氏がニュージラードより来訪されました。楽しい夕食の歓談を設けたのですが、それを記録写真に残すのを忘れるほど話に熱中してしまったとのこと。

暑い日が続きますが、呉々も健康に留意され猛暑を乗り切ってください。事務局員もお盆時期の帰省者来館にむけ頑張ります。

(理事兼事務局長) 伊藤 悟